

# FT310 / FT410 取扱い要領



## 1. 運転準備

- 1) 燃料タンクに自動車用ガソリンを入れてください。 **タンク容量：5.3 L**  
※分離給油方式ですので、2ストロークオイルとの混合は必要ありません。
- 2) オイルタンクに2ストロークオイルを入れてください。 **タンク容量：0.4 L**
- 3) ポンプを水源近くの水平な場所に設置し、吸管・ホースを取付けてください。
- 4) 放水弁、放水弁ドレンコック、及びポンプドレンコックを閉じてください。

## 2. 運転【始動→吸水→放水】

- 1) 燃料コック①を開いてください。
- 2) スロットルダイヤル②を『始動・吸水』の位置にします。
- 3) メインスイッチ③を『運転』→『始動』まで回して、エンジンを始動させます。  
リコイル始動時は『運転』にしてから、リコイルスタータハンドルを引き、少し重くなる所までロープを引き出し、ハンドルを両手で握って勢いよく引いてください。



(ロープ引き出し時のみ可)

- 4) スロットルダイヤル②は『始動・吸水』位置のまま、吸水ハンドル④を手前に引いて真空ポンプを作動させてください。吸水が完了したら、レバーを戻してください。  
※吸水完了の確認方法：吸水が完了すると圧力計が正圧を指し、真空ポンプ排気ホースから水が排出されます。
- 5) 筒先の安全を確認し、放水弁⑤をゆっくりと開け、スロットルダイヤル②で必要な圧力に調整してください。

※始動しづらい場合は、いったんスロットルダイヤルを『低速』位置に戻してから再度『始動・吸水』位置に戻し、始動操作してみてください。

※それでも始動しづらい場合は、いったんメインスイッチを『停止』位置に戻してリコイルスタータハンドルを数回引いてから、再度始動操作してみてください。

### 3. 放水の一時停止

- 1) 放水を一時停止する時は、スロットルダイヤル②を低速にしてから放水弁⑤をゆっくり閉じてください。

放水停止状態を継続するようであれば、一旦エンジンを停止してください。

### 4. 停止・保管

- 1) スロットルダイヤル②を低速にし、放水弁⑤を閉じてください。
- 2) メインスイッチ③を『停止』にすると、エンジンが停止します。
- 3) 各ドレンコックを開け、排水してください。
- 4) 排水後、放水弁⑤及び各ドレンコックを閉め、ポンプカバーキャップをつけて真空試験を行ってから、燃料コックを閉じて保管してください。

真空試験手順) ・エンジン始動→真空ポンプ作動(約5秒作動)→エンジン停止。  
・連成計が負圧を指しているか確認してください。  
・試験後はポンプドレンコックを一旦開き、ポンプ内を大気圧に戻してから再度閉じてください。

### 5. オイル警告表示・自動停止機能

オイルタンク内のオイルが少なくなると、オイルランプが点灯し(※)エンジンが自動停止します。  
(※バッテリー付きの仕様のみ)

### 6. 保守管理

- 1) 定期的に燃料を交換してください。(1回/6ヶ月)
- 2) 定期的に10分程度の高圧放水運転を行ってください。(1回/1ヶ月)  
※必ず筒先ノズルを使用してください
- 3) 放水運転後は、排水及び真空試験を行ってください。  
※真空試験は真空ポンプ内の排水作業を兼ねていますので、必ず行ってください。
- 4) 定期交換部品とその推奨交換時期は、下表を参照してください。

定期交換部品	推奨交換時期
点火プラグ	1年
燃料パイプ	2年
バッテリー	2年
オイルパイプ	2年
その他のゴム類	2年
真空ポンプVベルト	3年
スタータロープ	3年
燃料フィルタ	3年
オイルフィルタ	3年
エアクリーナ(スポンジ)	3年
放水弁の逆止弁	3年
メカニカルシール	3年
真空ポンプブレード	3年
燃料タンク	10年